



2022 年 12 月 23 日

本社ビルへのカーボンニュートラルな都市ガスの導入について

株式会社ひろぎんホールディングス（社長 部谷 俊雄、以下「当社」）では、カーボンニュートラルの達成に向けた取組みの一環として、「ひろぎんホールディングス本社ビル」において、広島ガス株式会社（社長 松藤 研介、以下「広島ガス」）が供給する「カーボンニュートラルな都市ガス」を導入しますので、下記のとおりお知らせいたします。

これにより、当社本社ビルで使用する都市ガスの全量が「カーボンニュートラルな都市ガス」に切り替わることから、本年 11 月 1 日から導入済みの再生可能エネルギー由来の電力と合わせ、本社ビルからの CO₂ 排出量はゼロとみなせるようになります。

記

1. 背景と目的

当社グループでは、地域を挙げた脱炭素社会への円滑な移行（トランジション）を実現することが、〈地域総合サービスグループ〉としての使命であるという認識のもと、2022 年 5 月に「地域のカーボンニュートラル実現に向けた中長期目標」を設定するなど、地域のカーボンニュートラル実現に向けた取組みを強化しています。

【ご参考】当社グループの温室効果ガス排出量削減に関する中長期目標

- | |
|---|
| <p>① 2030 年度までに当社グループによる温室効果ガス排出量（スコープ 1・2）のカーボンニュートラルの達成を目指す</p> <p>② 2050 年度までに投融資ポートフォリオを含めたサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量（スコープ 1・2・3）のカーボンニュートラルの達成を目指す</p> |
|---|

- ※ GHG プロトコル（温室効果ガス算定及び報告基準）におけるスコープ 1・2・3 について
- ・スコープ 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼等）
 - ・スコープ 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
 - ・スコープ 3：スコープ 1・2 以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）

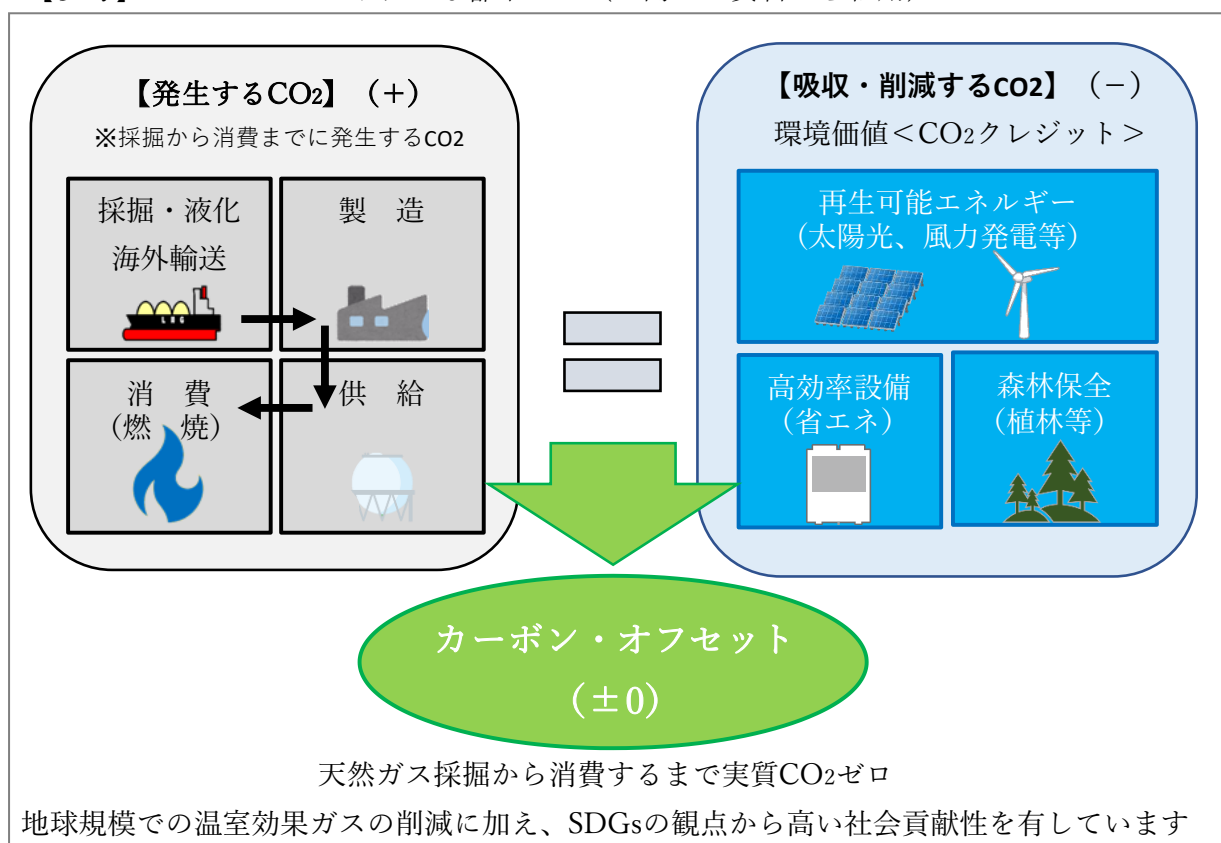
本件は、上記①の目標達成に向けた取組みであり、今後も店舗・諸施設に係る建物の省エネ化とともに、2030 年度に向け使用する電力等の脱炭素化などに計画的に取り組んでまいります。

また、当社グループのみならず、お取引先企業のカーボンニュートラル対応を促進・支援し、地域を挙げた脱炭素社会への円滑な移行（トランジション）を実現するため、〈地域総合サービスグループ〉として本業を通じた取組みをより一層進めてまいります。

2. 概要

広島ガスが提供する「カーボンニュートラルな都市ガス」は、天然ガスの採掘から液化、輸送、再気化、供給先での燃焼に至るまでの工程で発生するCO₂を、CO₂クレジットで相殺（カーボン・オフセット）した液化天然ガスを活用したもので、地球規模で見た場合には、CO₂排出量をゼロとみなせる都市ガスになります。

【参考】カーボンニュートラルな都市ガス（広島ガス資料から転用）



3. 導入建物

ひろぎんホールディングス本社ビル（広島市中区紙屋町1丁目3-8）

4. 導入開始日

2023年1月使用分から

以上



当社グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDG 17の目標アイコン」を明示しています。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】

2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。

持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ひろぎんホールディングス 経営企画部
TEL (082) 245-5151 (代表)

当社グループのカーボンニュートラルに向けた取組み

※【BK】：広島銀行、【HD】：ひろぎんホールディングスでの取組み

